「神おろし」

ある家の母ちゃんが、ちょっとした不注意から火事を出してしまった。そのとき運の悪いことには、二人の子どもを焼死させてしまった。その悲しみはいつも消えず、たえず自分を責めて暗い毎日を過ごしていた。

ある日のこと、たまらなくなって石脇の「イチコ」の所に行って、死んだ子どもを神おろししてもらって話をして来た。帰って来たときは目をまっかに泣きはらしていたが、その次の日からは、また元気に働いた。